

袋井市フレイルリスク分析サービス プライバシーポリシー

本サービスをご利用いただくにあたっては、袋井市フレイルリスク分析サービス プライバシーポリシー（以下「本プライバシーポリシー」といいます）をお読みいただき、内容についてご理解およびご同意のうえ、ご利用くださいますようお願いいたします。ご同意いただけない場合、本サービスへのお申込みおよびご利用はいただけません。

なお、本プライバシーポリシー内で使用する文言および用語は、本プライバシーポリシーにおいて別途定める場合を除き、「袋井市フレイルリスク分析サービス 利用規約」に定義された文言、または記載されている文言に準じます。

第1条 （定義）

1. 「加工」とは、データを加工、編集、統合、分析等することをいいます。
2. 「個人情報」とは、個人情報の保護に関する法律第2条に定める個人情報をいいます。
3. 「個人情報等」とは、以下の各号の情報を併せていいます。
 - (1) 個人情報
 - (2) 取得データに含まれる個人に関する情報
4. 「取得データ」とは、本サービスにより取得・保有するデータをいい、その詳細は第2条（本サービスで取得する情報）に記載します。
5. 「派生データ」とは、取得データを加工または取得データを分析して作成したデータをいいます。
6. 「取得データ等」とは、取得データおよび派生データを総称していいます。
7. 「利用等」とは、利用、使用、加工、開示、利用許諾、移転、譲渡および処分等をいいます。
8. 「サーバー」とは、サービス提供者またはサービス提供者の委託先が管理するサーバーシステムをいいます。

第2条 （本サービスで取得する情報）

サービス提供者は、本サービスにおいて、以下の各項に掲げる情報（以下「各種情報」といいます。）を利用者より取得します。利用者は、サービス提供者が各種情報を取得すること、各種情報をサーバー上に保存すること、および各種情報を本サービスの実施のために利用することに同意するものとします。

1. サービス利用同意書の記載内容
 - (1) 基本情報

氏名、生年月日、性別、住所、電話番号

(2) 電気契約者情報

電気契約者氏名、電気使用場所住所、本人確認書類情報（書類の種類、発行番号）、供給地点特定番号

2. 電力データ

電力使用実績データ（30 分毎の使用量の合計）

3. フレイルに関する情報

サービス提供者の委託先によるフレイル検知結果、フレイル検知後の確認結果

4. 本サービスの運用過程で取得する情報

第3条 （本サービス利用と情報提供の関連性）

利用者が本サービスを利用される場合、各種情報のサービス提供者への提供は必須となります。サービス提供者は、提供された情報をその情報単体および組み合わせて保存し、第4条（取得した情報の利用目的）第1項に規定する利用目的のために使用します。これらの情報の提供を望まれない場合、本サービスの一部の機能が利用できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

第4条 （取得した情報の利用目的）

1. サービス提供者は、サービス提供者が取得した各種情報を以下の目的で利用します。
 - (1) 本サービスを実施するため
 - (2) 電力データ取得手続きのため
 - (3) 電力データを用いたフレイルの検知のため
 - (4) フレイル検出サービスの機能改善および品質向上のための検討材料として使用するため
 - (5) フレイルの進行を妨げるための検討材料として使用するため
 - (6) 住民サービス向上のための政策的な検討の材料として使用するため
 - (7) 公益性を十分に考慮した上で、匿名化された個人情報を含めた成果を公表するため
 - (8) 第11条（統計情報と匿名加工情報の第三者への提供）に基づき、取得した個人情報を統計情報または匿名加工情報に加工したうえで自ら利用し、第三者（日本国外にある第三者を含みます。）に提供するため
 - (9) 本サービスに係るお問い合わせ対応のため
2. 第1項に定める目的以外の目的で、サービス提供者が各種情報を利用する場合は、利用目的を明示のうえ改めて利用者の同意を得るものとします。

3. サービス提供者は、利用者が本サービスのご利用を中止・終了された後も、既に取得した各種情報については引き続き保存または利用することができるものとします。ただし、サービス提供者が取得してから一定期間が経過したものについては廃棄することがあります。
4. サービス提供者は、利用者が本サービスのご利用を中止・終了された後も、既に本サービスで学習した結果または生成した派生データについては、個人を識別できないよう加工を行った場合のみ、引き続き保存または利用することができるものとします。
5. 袋井市は、以下のいずれかの場合を除き、各種情報を第三者（日本国外にある第三者を含みます）へ提供しません。
 - (1) あらかじめ利用者から同意を得た場合
 - (2) 第11条（統計情報と匿名加工情報の第三者への提供）に基づき各種情報を加工したうえで提供する場合
 - (3) 法令または官公庁の要請により開示が必要な場合

第5条 （取得データ等の利用条件）

1. サービス提供者は、取得データ等を本プライバシーポリシーに記載する条件の範囲内でのみ利用します。
2. 本プライバシーポリシーで明示的に規定される場合を除き、取得データ等について開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および提供の停止は、サービス提供者が対応します。
3. 本サービスにおける個人情報の収集・利用・管理について、本プライバシーポリシー内で定めがないものに関しては、「袋井市個人情報保護法施行条例」「袋井市情報セキュリティポリシー」に基づいて適切に取り扱うものとします。

第6条 （利用者による利用中止）

サービス提供者は、利用者からの利用の中止の連絡を受けた場合、利用者が不利益を被ることがないように十分な配慮を行い、速やかに受領済みの個人情報（複製物を含む）を全て廃棄または消去しなければならないものとします。

第7条 （取得データの管理・保管等）

1. サービス提供者は、取得データ等を自己の有する他の情報と明確に区別して善良な管理者の注意をもって管理・保管し、適切な管理手段を用いて管理措置を講ずるものとします。
2. サービス提供者は、取得データ等に含まれる個人情報について、個人情報保

護法令を遵守して、個人情報等管理に必要な措置を講ずるものとします。

3. サービス提供者は、取得データ等に含まれる個人情報の取扱者を必要最小限の者に限定し、また、本規約に基づく業務に関与する者に本プライバシーポリシーの内容を遵守させるために、合理的に必要な措置を講じるものとし、これらの者による本プライバシーポリシーの違反について責任を負うものとします。
4. サービス提供者は、本サービスの提供終了時、理由の如何を問わず、取得データ等に含まれる個人情報を利用等してはならず、速やかに受領済みの個人情報（複製物を含む）を全て廃棄または消去しなければならないものとします。
5. 当事者が作成した統計情報および匿名加工情報については、本サービスの提供終了後も使用可能なものとします。

第8条 （個人情報保護管理責任者）

取得データに含まれる個人情報の個人情報保護管理責任者は、以下とします。

- ・ 袋井市：個人情報保護管理責任者 健康長寿課長

第9条 （電力データの取得元、および提供する個人情報）

当事者は、第4条（取得した情報の利用目的）に記載する利用目的に記載する電力データ取得手続きのため、以下のとおり個人情報を利用します。

1. 電力データの取得元
一般社団法人電力データ管理協会
2. 電力データ取得のために前項1. 記載の取得元へ提供される情報の項目
 - ・ 電気契約者情報
電気契約者氏名、電気使用場所住所、本人確認書類情報（書類の種類、発行番号）、供給地点特定番号

第10条 （個人情報取扱に関する委託）

サービス提供者は、本サービスの提供のために、利用者から取得する各種情報の取扱いを、各種情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部事業者に対し委託する場合があります。

第11条 （統計情報と匿名加工情報の第三者への提供）

サービス提供者は、保存した取得データを以下のとおり加工したうえで、また、以下の目的で、サービス提供者で利用し、または第三者（日本国外にある第三者を含みます。以下本条、第12条（匿名加工情報）においても同様とします。）へ

提供する場合があります。

1. 個人が識別できないように統計化処理して統計情報を作成し、これを研究・学会発表、マーケティングに利用し、または研究機関・大学等の第三者に提供するため。
2. 特定の個人を識別することができないように取得データを加工して得られる個人に関する情報であって、加工前の取得データに含まれていた個人情報をも復元することができないようにした情報（以下「匿名加工情報」といいます。）を作成し、サービス提供者において利用するため。また、サービス提供者は、匿名加工情報を元に特定の個人を識別する行為を禁止し、提供する情報が匿名加工情報であることを明示したうえで、第12条（匿名加工情報）で示す内容の匿名加工情報を第三者に提供することがあり、サービス提供者は匿名加工情報を継続的に作成および第三者に提供する可能性があります。

第12条 （匿名加工情報）

サービス提供者は、以下のとおり、匿名加工情報の作成と第三者への提供を法令で認められた範囲で行います。

1. 匿名加工情報の作成方法として、サービス提供者は、個人情報保護法その他個人情報保護委員会等の行政機関のガイドライン等で定める加工基準に沿って、利用者様の情報を加工し匿名加工情報を作成します。
 - (1) 特定の個人を識別できる記述の全部または一部の削除
 - (2) 個人識別符号の削除
 - (3) 情報を相互に連携する符号の削除
 - (4) 特異な記述の削除
 - (5) その他、当事者が必要と考える措置（個人の特定につながる可能性がある特異な処理結果の置き換え等）
 - (6) なお、削除とは元の情報に復元することのできない仮ID等に置き換えること等の処理を含む。
2. 匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目、第三者への提供方法
 - (1) 情報の項目
 - (2) 取得データに記述されている情報を本条の匿名加工情報の作成方法に従い、匿名加工した情報。
 - (3) 提供方法
暗号化後、電磁的な方法による送付（メディア媒体による送付も含む）またはクラウド環境における送信。

第13条 （統計情報および匿名加工情報の第三者提供の停止要求）

1. サービス提供者は、利用者から第 11 条（統計情報と匿名加工情報の第三者への提供）および第 12 条（匿名加工情報）に規定する第三者への提供の停止の求め（以下「第三者提供の停止要求」といいます。また、以下、本条において統計情報および匿名加工情報を併せて「統計情報等」といいます。）を受けた際、求めをされた利用者が指定した情報の第三者への提供を停止します。停止を希望する場合は、サービス提供者所定の方法で行ってください。
2. 第 1 項による第三者提供の停止要求がされた場合でも、利用者は、第三者提供の停止要求の完了以前に利用者の取得データ等に基づき作成した統計情報、匿名加工情報および生成したフレイルリスク情報（個人を識別する情報を含まない場合に限る）に関しては、第三者提供の停止要求の対象から除外されることに同意するものとします。

第14条 （本プライバシーポリシーの変更）

1. サービス提供者は、取得データ等のより適切な保護を図るため、または法令その他の規範の変更等に対応するため、取得データ等の取扱いに関する運用状況を適宜見直し、必要に応じて、本プライバシーポリシーを予告なく変更することがあります。
2. サービス提供者は、本プライバシーポリシーの変更後の内容については、利用者がサービス提供者等に提出した利用申込書に記載の住所、電話番号または訪問等の方法から、サービス提供者等が適当と判断した方法にて通知を行うものとし、法令において認められる限度において、変更後のプライバシーポリシーに基づいて取得データ等（変更前に取得したものを含みます）を取扱います。本プライバシーポリシーの変更内容は、通知を行った時点から変更の効力が生じます。変更の効力が生じた後、本サービスを利用された利用者は、本プライバシーポリシーの変更内容に同意したものとみなします。
3. 前 2 項の規定にかかわらず、法令上、利用者の同意やあらかじめの通知等が必要となるような内容の変更の場合は、変更の効力は、変更内容の通知がサービス提供者より発信された後、サービス提供者が、利用者から対面またはその他の手段にて同意の連絡を受信した時点より、同意された利用者に対してのみ生じるものとします。

以上

制定日：令和 7 年 8 月 16 日